

大口町プロモーション通信

No. 19

知ってた？実はすごいよ！大口町ツアー

～大和エンタープライズ(株) リー・グリーンパークニツ屋・東海木材相互市場 大口市場 見学～

おおぐち宣伝部が、大口町の魅力の一つとして、大口町内にある企業の素晴らしさを知ってほしいという思いから企画している「知ってた？実はすごいよ！大口町ツアー」の第3弾として、2月15日(土)に、大和エンタープライズ(株)ニツ屋工場と、東海木材相互市場大口市場の見学ツアーを実施しました。

大和エンタープライズ(株)ニツ屋工場見学
大和エンタープライズ(株)ニツ屋工場は、2015年に操業を開始した大口町指定の有機資源保管場所です。この工場は、大口町をはじめ周辺の市町で剪定された枝や草、さらに大口町民の各家庭で剪定された草木が直接持ち込まれ、破碎処理して堆肥原料を作る施設です。

まず、工場の方から資源を循環させることの大切さと仕組みを聞いた

後、施設内にある大型の破碎機を実際に動かしていただき、持ち込まれた剪定枝や草を粉碎し、堆肥原料にする様子を見学しました。

枝や草木は長さ2cmに粉碎することで原料の発酵が進み、積み上げて保管すると発酵温度が80℃にまでなること。粉碎した原料の温度が上がることによって、潜んでいた害虫が死滅し、雑草の種などが不活性化されることで良質な肥料になることなどを聞きました。



東海木材相互市場 大口市場

東海木材相互市場 大口市場は、2万2000坪の敷地に各地の木材

が集まり、全国から買い取りに訪れる市場で、取引額は日本一を誇ります。

2019年に新築オープンした、木造建築の事務所会議室で、市場の規模や、木材についての説明を聞き、また実際に事務所内に使われている木材を見たり触れたりした後、屋外の木材を見学しました。広い敷地内にある木材の中には、神社や仏閣で使用するヒノキやケヤキなども多く扱っていること、またプレカット工場で、設計図に従い、機械が自動的にカットし、住宅の材料を提供している所などを見学しました。



小学生へのプロモーション事業 西つ子発表会

昨年の9月から12月にかけて、大口小学校の3年生の総合的な授業の時間に、大口町プロモーション事業のひとつとして、団体、企業、住民、行政が、それぞれ大口町の魅力や特

徴を伝える授業を行いました。「五条川を守る人の話」「コミュニティバスを知ろう」「大口町の農業と産業」「大口町の生き物」のテーマについて、大口町で活動する団体の方々や企業の方に講師を務めていただきました。総合の学習のまとめの授業には、宣伝部のメンバーも参加し、一緒に学習した大口町の良さや特徴について発表するポイントをまとめ、その集大成として、2月8日(土)におこなわれた西つ子発表会で、保護者や地域の方を前に児童が発表をおこないました。

大口町を知ること、自分の町に誇りと愛着を持って欲しいと思います。
協力 わくわくおおぐち21、コミュニティバスサポート隊、福玉米粒麦株式会社、大和屋守口漬総本家、大口工場、吉田昇さん、大口町町民安全課

問合せ先 NPO法人まちねっと大口
☎ 22-6642

